



飛木稲荷神社例大祭にあたり

押上一丁目仲町会

祭礼委員長 細川 勝也

平成十二年度は三年に一度の飛木稲荷神社例大祭が九月十四日より始まり、ご鳳輦渡しが盛大に執り行われ、当町会の神社総代の多賀前会長、氏子総代の私(細川勝也)、宮総代の松倉喜富、高橋邦夫氏が参列し、参拝を斉行いたしました。



鳳輦渡しの一行

また当町会の神酒所のお祓いが宮司より無事奉任され、一気にお祭りムードが盛り上がりました。町会の大人神輿、子供神輿、婦人人会、子供会、また交通部や演芸部その他各担当部員が協力し合い、怪我や事故もなく、無事に素晴らしい大祭が出来ましたことを

押上一丁目仲町会広報委員会

編集責任者 五月女 稔

第六号 十二年十月三十一日発行

題 字 細川 勝也

祭礼委員長として心より感謝いたしております。また最終日には町内の皆様方全員が大きな拍手を送り四日間の例大祭も無事幕を閉じることが出来ました。町会の皆様方のご協力に対し重ねて心より感謝いたしております。本当に有難うございました。

鳳輦に初めて参加して

高橋 邦夫

西暦二千年を記念する飛木稲荷神社の祭礼に入る前に、春から神社の日程に従い何度も打合せがありました。今年には総代全員が例祭、神幸大祭に威儀を正して正装して参加し、神社に入るときは、黄色着物に男袴(浅黄色)を着用することが決定されました。

九月十四日 午後一時仲町会会館での宮司お祓いの時には多賀神社総代、細川氏子総代、松倉宮総代、そして私の四名が正装で出席しました。

十五日 飛木稲荷神社で例大祭式が執り行われ、全員が着席すると多賀神社総代の太鼓の合図で宮司入場し、祭典が始まりました。

十六日 鳳輦巡幸日で朝八時頃から着付け。八時半より太鼓の合図で宮司による儀式があり、九時半にご出社です。行列は警官、先導車に始まり黒い牛の曳いた鳳輦などから宮司、総代に至るまで先

頭から終わりまで百メートル以上の行列が十一にわたる町会を練り歩き、その間、各町会の総代達が前後の受け渡しの儀式であるお立会いを行ない、各町会内での行列ではその町会が先導して行きます。神社を出発してから第二番目

わが仲町会です。町内を歩きながら皆さんの姿を見て、こんなに多数の方々が鳳輦を出迎え、共に歩き、見送ってくれたことを心にとけ止め、最後まで歩き通さねば！と決心し次の町へと進みました。

仲町会の後は南町会ほか四つの町会でのこの辺まで来ると、東武亀戸線の踏切を往ったり来たり、三回くらい渡りました。

ガーデン通りで二十分ほど休み、八広北町会ほか三町会をまわり、最後の受け渡しは押上西和町会でした。昼食は途中でとりましたが、お酒は厳禁です。昼食後の短い休み時間に足腰の痛む場所を自分でもみほぐしながら三時半頃の神社到着迄がんばって歩き続けました。

到着後の皆さんの第一声は、「無事に着いて良かった！」でした。仲町会の四名は共に気心を知っているので歩いていてもとても励みになったと思っております。

なお、当町会からの白丁を勤めていただいた小杉さんにお礼申し上げます。神社に帰り、ご婦社の儀式が催され、お互いにお疲れ様とカンバイです。

わたしは初めて長時間袴を履いて歩いたので、とても歩きづらかったし、陣笠もとても重く感じられ

ました。町会会館に帰って来た時、皆さんが一生懸命に役割を果たしている姿を見たら、疲れた姿は見せられませんでした。どうも皆さんお疲れ様でした。

【大人神輿 荒井】

今回初めて大人神輿の担当部長を経験して感じたことを一言。



(神酒所を出発する大人神輿)

今まで長年演芸部を担当しましたが神輿係への憧れはありました。「夜の顔が演芸部長であれば、昼の顔は神輿の部長」といわれ、演芸部として色々考えてやりましたが、神輿の迫力にはかないませんでした。ほかの町会の人達いわく「一度きしがしらをやると辞められなくなる」と聞きました。確かに忙しい思いはしますが、一番の魅力は馬の上で音頭をとるときです。あの味はやった人でなければ分かりません。チャンスがあったら是非

非「昼の顔」を経験してみても下さ。祭のきがしらは若いうちです。応援します。

【子供神輿担当 並木】

記念すべき今年には二千年の大祭だ。「ワッショイ、ワッショイ」子供達の元気よい掛け声で小雨模様様の空も何とか持ちこたえ、無事神社参拝を済ませることが出来ました。

会館前に戻ってくると、毎年ご好評いただいているマクドナルドハンバーガーがまだ到着していません。焼立て、揚げたて、スマイル0円のマクドナルドが約束の時間を破るなんて……。

私がマクドナルドにかわり深くお詫びいたします。どうもすみませんでした。

お菓子のように前もって準備しておくことが出来ず、ハラハラドキドキ、こんな心配などありましたが、子供達一人ひとりに手渡すとき「ありがとう」なんて言われると、ああよかったという気持ちになります。

そのかいあってわが仲町会は、他町会に比べると子供達の担ぎ手が大勢(三十八名集まり)活気あふれるお祭りでした。

ふだん外で会ってもあまり言葉をお交わすことのない子供達でも、お祭りという魔法にかかり笑顔で声をかけてきてくれる大人も子供も和気あいあい楽しめたミレニアム大祭だったのでなかったでしょうか。

お祭りという魔法にかかり笑顔で声をかけてきてくれる大人も子供も和気あいあい楽しめたミレニアム大祭だったのでなかったでしょうか。

【演芸部 沖山】

大祭のしかも富くじのある年に演芸部の部長を引き受けてしまいました。演芸部としての私には全く初めての経験です。

しかし心配は無用でした。他の部員のみんが全て経験者でしたので当日までの手順をよく心得ていて実にスムーズに本番に至りました。

当日、三遊亭楽志郎の芸はタイムオーバーでしたが、いつときでも場が盛り上がったのですから良かったのではないのでしょうか。富くじの賞品の内容はいかがでしたか？

後半は雨模様でしたがそれを感じさせない熱気が会場にありましたので安心しました。

前日の子供太鼓、祭礼踊りも含めて全体的に盛況だったと思います。ご協力有難うございました。



(祭礼太鼓の子供達と雅楽先生)

【押仲すこやかチーム】

●七月十九日

児童との交流夕涼み大会 五号でお知らせしましたように、並木会員宅前の予定が警察の許可が出なかつたため、急ぎ奥山会員宅のガレージに変更になり児童達と食事しながら楽しく昔の遊びをして交流をはかりました。なお、さくらケーブルテレビの取材でその様子が一週間後に放映されました。

●七月二十一〜三十一日

ラジオ体操への参加 朝早くの体操は爽かで気持ちのよい一日となります。

●九月十四〜十七日

飛木稲荷神社大祭 今年の夏は異常なほど暑い日が続きましたが、皆様元気に暑さを乗り越え大祭を迎えました。四日間の大祭のうち一日雨に降られ、神輿の勢ぞろいが見られず残念でした。〇の〇も微力ながらお手伝いいたしました。

●九月二十日

クリーン作戦 朝八時三十分集合し、町内の掃除

●九月二十四日

お誕生会 八月、九月生まれの方々のお祝いをしました。

●九月二十八日

墨老連主催の輪投げ大会 〇の〇からは八人の選手が参加したが、普段の練習不足を思い知らされました。

●十月十五〜十六日

泊旅行で塩原温泉に行きました。

【婦人会】

祭礼踊りの練習会を去る九月六日(水)町会会館の二階において子供会、婦人会の皆さんの参加によりおこないました。

祭礼当日は子供会員による太鼓の熱演も加わり大人も子供も輪になって「すみだ音頭」「マイムマイム」「炭坑節」「東京音頭」と楽しく踊ることが出来ました。ご協力有難うございました。

【子供会】

七月以降の子供会行事を振り返りますと、夏休みラジオ体操、ボーリング大会、子供参加の廃品回収、祭礼と一つひとつ活動して参りました。

ラジオ体操は七月二十一日から七月三十一日の短い期間でしたが町内会大勢の方々とすがすがしい朝の空気をいっぱい浴びて伸び伸び体操することが出来ました。

早朝にもかかわらず皆勤賞は十二名もいました。子供達の頑張りに拍手を送りました。

●ボーリング大会は八月五日(土)

に総勢二十名で「アイビーポウル向島」にてプレイを競い合いました。低学年と高学年の優勝者にトロフィーを、お父さん、お母さんの優勝者にも素敵なプレゼントがあり、表彰式の後、会食へと進行し楽しいひとときを過ごしました。

廃品回収は八月十一日(金)に子供十三名が加わり猛暑の中、汗を流しながら一生懸命回収のお手

伝いに積極的な参加をしてくれました。

最後に今年で四年目になる祭礼踊りの太鼓では初めての参加に無我夢中で打つ子供、聞きなれた曲にパチパチリズムを会わせる子供、それぞれに練習の成果を披露することが出来ました。そして子供会担当の模擬店は五種類の出し物でお祭りの場を盛り立てました。食べ物に関して早めの売り切れにこの場を借りてお詫びいたします。

多々ご迷惑をおかけしたことと思いますが、町内会の皆様にご協力いただき会員一同感謝しております。

今後の行事としては、十二月のクリスマス会、三月には入卒祝賀会を予定しております。子供達の喜ぶ顔をいっぱい見たいので限られた人数ですが、皆で協力し合っ

【防火防災部 並木】

「火事だ！消火器、消火器！」さて、あなたは、町会内に何台の消火器が何処に設置されているのかご存知ですか？

正解は二十四台です。内訳として会館に二台、地区に十二台(町会所有)、そして墨田区所有のものが十台設置されています。

防火防災部では今年度の予算をほとんどかけて消火器をリニューアルいたしました。あなたの近くに消火器が何処に設置されているかも一度確認をして方が一の時に備えて、何時でも使えるように

心がけましょう。

三宅島雄山の噴火、そして今日六日の鳥取西部を襲った地震は、日本の防災対策に新たな課題を突きつける格好になりました。わが押上仲町会は、町会員皆様方の防災に対するご理解、ご協力により毎年多数の防災訓練に参加をいただいております。

これから寒くなるにつれて火を使うことが多くなりますが、火の始末には十分注意しましょう。

「火の始末 その目 その手で もう一度」



(平成十年度 東京消防庁防火標出 (押一町会との合同防災訓練風景 H12.10.22))

12月までの行事予定

(実施分を含む)

- 10月 防災訓練実施 (押上一丁目町会と合同)
- 12月 町会会館大掃除 歳末特別警戒実施

